

第51回インナーゼミナール大会

研究計画書

| | | | |
|--------|---|------|-------|
| ゼミ名 | 岡田ゼミ | チーム名 | 友好都市班 |
| タイトル | You caught sea | | |
| テーマ群 | d)国際経済 e)産業・企業 g)その他 | | |
| メンバー | 増岡莉来 松本宗次朗 畑梨沙子 大畑永遠 川岸隼土 末吉花林 吉原沙英子 | | |
| 研究計画内容 | <p>今回私たちの班で研究する内容は、神戸と友好都市についてである。まず初めにこのテーマに決定した動機について述べる。神戸をはじめ、日本全国の多くの都市で、友好都市や姉妹都市と呼ばれる、海外の都市との提携が見られる。しかしそれらの実情がどのようなものなのか、またそもそもそれらはどのような経緯で、どのような理由で提携されているのかといった基礎知識を、私たちは十分に持ち合わせていなかった。そのため、まずはそれらについて調べてみようということになった。友好都市、姉妹都市について調べていく中で、様々な疑問や提案などが生まれた。インターネットから得られる情報だけでは不足、神戸市役所の国際課に直接問い合わせ、さまざまな疑問をぶつけた。これに対する同課の返答をもとに我々は、大学生の立場で、新たな神戸の友好都市締結を提案することが可能であるかを検討した。</p> <p>まず、我々は、友好都市、姉妹都市の意義と、それが提携都市双方に与える効果、そして、神戸の友好都市がなぜ神戸と締結したかについて調べ、その上で、新たに我々が提案する友好都市に、どの地域がふさわしいかを吟味することにした。神戸市は古くから国際的な環境のもとで発展し、また港町であるからこそ、さまざまな海外の影響を受けた。それによって培われた文化を、逆輸入のような形でまた海外の都市へ広げていく、港湾として栄え、さまざまな文化を織り交ぜながら生まれた新たな文化を相互に発信してきた。神戸と友好都市の関係性にはそのような共通点が見受けられる。</p> <p>つまり新たな神戸の友好都市を提案する際、我々が重視する点は以下の三つである。港湾都市であるという点、我々がいまだ馴染みの少ない地域を選ぶという点、そして、神戸の風土に適合した地域がふさわしいという点である。以上の点を鑑み、我々が見つけた都市が、南アフリカ共和国のケープタウンである。この都市は我々の設けた基準を満たしており、また、神戸がアフリカ大陸の都市と友好都市提携を結んでいないなどの点から、より深い文化の交流が期待できるのではないかと考える。実際にそれらの提案を携えて、友好都市締結に向けて研究を進めていくことにする。</p> | | |